

平成 26 年度横須賀市国民保護訓練 実施結果報告書



平成 26 年(2014 年)11 月 7 日実施
横須賀市

目 次

| | | |
|---|----------------------|----|
| 1 | 平成 26 年度横須賀市国民保護訓練概要 | |
| | ①実施計画 | 1 |
| | ②次第 | 9 |
| | ③参加者名簿 | 10 |
| | ④状況付与一覧 | 11 |
| 2 | 訓練実施の趣旨 | 19 |
| 3 | 訓練成果と課題 | 22 |
| 4 | 訓練総括 | 25 |
| 5 | その他 | |
| | ・ 訓練写真 | 27 |
| | ・ アンケート結果 | 29 |

平成 26 年度 横須賀市国民保護訓練 実施計画

1 趣 旨

万が一大規模なテロ等が発生した場合に、迅速かつ的確な市民の避難や救護活動に関する判断が適切に行えるよう、関係機関と連携した国民保護図上訓練を実施する。

2 実施概要

(1) 訓練目的

事態対処活動に携わる職員の国民保護法及び国民保護計画への理解度向上と、関係機関との連携確認を目的として実施する。

なお、平成 25 年度は事態認定されてはいないが、市民生活に影響を及ぼす事案(中途半端事案)発生時の対応について図上検討会及び実動訓練を実施したが、今年度においては、事態発生から事態認定後までの一連の対応について図上訓練を通じて検証を行うこととする。

- ・第 1 部では、付与状況に基づき、機関ごとに対応・処置すべき内容を検討・調整する。(図上訓練)
- ・第 2 部では、第 1 部の訓練結果を機関ごと発表してもらい、それに対する質疑応答や問題点から、関係者間で処置すべき事項の整理・検証を行う。(検討会)

(2) 日 時

平成 26 年 11 月 7 日 (金) 13 時 00 分開会 13 時 30 分訓練開始

(3) 会 場

横須賀市役所 (正庁)

3 訓練参加機関

神奈川県警察 (県警本部危機管理対策課、横須賀警察署、田浦警察署)、陸上自衛隊第 31 普通科連隊、神奈川県 (危機管理対策課、県政総合センター)、横須賀市 (市民安全部、消防局)

4 訓練詳細計画

(1) 訓練全体プログラム

| | | |
|--------------------------|-------|-------------|
| I 開 会 | 5 分 | 13:00～13:05 |
| II オリエンテーション | | |
| ① 訓練方法の概要及び前提状況の説明 | 15 分 | 13:05～13:20 |
| ② 演習グループ毎の作戦会議 | 10 分 | 13:20～13:30 |
| III 図上訓練 | | |
| 第 1 部 図上訓練 | 100 分 | 13:30～15:10 |
| (休 憩) | 10 分 | 15:10～15:20 |

第2部 検討会

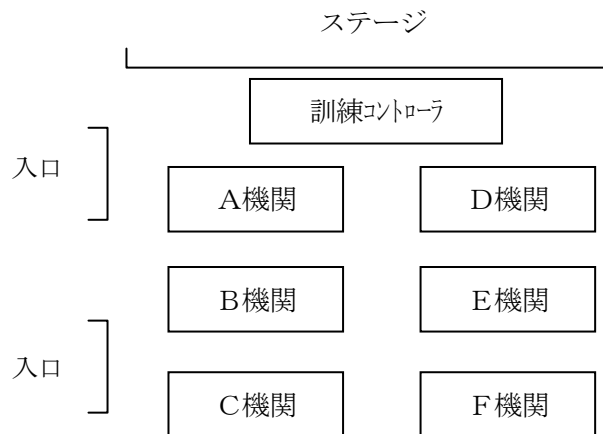
| | | |
|-----------------------|-----|-------------|
| ① 訓練想定及び状況付与の意図の説明 …… | 5分 | 15:20～15:25 |
| ② 機関ごとによる討論・振り返り …… | 10分 | 15:25～15:35 |
| ③ 各機関からの発表 …… | 30分 | 15:30～16:00 |
| ④ 討論・意見交換会 …… | 50分 | 16:00～16:50 |
| ⑤ 講評(訓練総括) …… | 10分 | 16:50～17:00 |
| IV 閉 会 …… | 5分 | 17:00～17:05 |

(2) 訓練会場

訓練会場は、横須賀市市役所正庁（3号館5階）とし、次の配置図案に基づき机を配置し、各機関をパーテーションにより区切るとともに、具体的な対応活動などの議論が可能となるようホワイトボードを用意する。

【会場配置図

(案)】



(3) 訓練で準拠する法・計画等

訓練で準拠とする法・計画等は、国民保護法及び同法に基づき各機関が作成する国民保護計画とする。

(4) オリエンテーション

訓練の円滑な実施を図るには、実施方法の徹底が不可欠であり、次の事項の再度確認を行う。

- ① 訓練目的
 - ・ 訓練の実施目的、国民保護業務の課題など
- ② 訓練方法の概要
 - ・ コントローラーとプレイヤーのそれぞれの役割
 - ・ 訓練で準拠する計画等
 - ・ 訓練スケジュール、フェーズ、訓練時計
 - ・ 各機関への連絡、情報提供の手段・方法
 - ・ 記録の取り方（記載方法等）
- ③ その他

(5) 各機関の作戦会議

訓練を円滑に実施するため、訓練開始前に、訓練の進め方を確認しながら役割分担を行う。
また、前提条件(初期状況)を踏まえ、必要に応じて対応方針等について打ち合わせをする。

(6) 第1部 図上訓練

① 進行方法

- ・訓練参加機関は、それぞれの機関の勤務場所(対策本部等の設置場所)にいるものとする。
- ・訓練実施中に付与する状況は、時間の推移に応じて「様式1 状況付与票」によりコントローラーから付与する。なお、事前に用意する付与のほか、訓練中の状況に応じて臨機応変に状況付与の追加もある。
- ・各機関はコントローラーから付与された状況を分析して、必要な判断・決定・指示を行う。
- ・訓練参加機関間の情報伝達は、電話又はFAX・Eメールを想定した「様式2 関係機関連絡表」を用いるものとし、各機関のブースへ出向いての口頭による情報伝達は不可とする。
- ・訓練に参加していない外部の関係機関との連絡(情報収集・伝達)は、指示した時点で完結し、原則としてコントローラーへの問い合わせ等はしないものとする。

(例)

A病院が参加していない中、付与された状況から「A病院へ重傷者の受入れ依頼をする。」と決定した場合は、“A病院へ依頼をした(依頼し、受入れ可能との返事もらった).”と想定(仮想)して、付与に対する対応を終了する。但し、国民保護計画や既存のマニュアル等から逸脱した想定(仮想)は禁止とする。

- ・訓練参加機関相互間の連絡調整・通知等は、次の方法で行う。
 - a) 電話・・・単なる連絡や確認で、実際の場合も電話で済むと思われるもの
 - b) 連絡表・・・国の通知や関係資料の添付が必要で、実際にはFAXやメール等で行うと思われるもの
- ・各機関が行った判断や決定については、「様式3 時系列対応記録票」に記入する。

② 進行上の留意点

- ・訓練方法の徹底不足により進行上の支障が生じた場合には、コントローラーにより訓練を一旦止め、説明を加えたうえ再開する。
- ・各機関の活動が、準拠する法・計画から逸脱した場合や、コントローラーが予期したものから大きく外れた場合は、コントローラーによる調整を行う。

(7) 第2部 検討会

訓練終了後、訓練を通じて把握した対応上の課題や、国民保護計画などにおける疑問点の共有、更にはこれらの改善方法を検討するために、参加機関相互の意見交換を行う。
また、訓練監修者からの講評を行うことで、より客観的な意見を得る。

① 訓練想定及び状況付与の意図の説明

コントローラーから、訓練想定や状況付与の意図などを示す資料を使用して、訓練のねらいを明らかにする。

② 各機関による訓練振り返り及び発表

明らかにされた訓練のねらいなどを踏まえ、次の事項について機関ごとに訓練の振り返りを行う。

- a) 付与に基づき決定した対策事項
- b) 対策を検討・決定する上で判断に迷ったこと、困ったこと
- c) 国民保護事案対応において、関係機関に知っておいてもらいたいこと
- d) その他

次に、上記内容について機関ごとに発表をしてもらい、全機関の発表後にそれぞれの自らの組織の役割、活動内容などを踏まえ、討論と意見交換を行う。

なお、この場においては、「質問・反省は自由、批判は厳禁」を基本ルールとする。

③ 講評（訓練総括）

検討会の最後に、訓練の総括としての講評を行う。

- a) 訓練の意義と実際の国民保護事案発生時の心構え
- b) 訓練における対応活動のよかった点と、改善を要する点の要約
- c) 今後の継続的な訓練実施の必要性

5 訓練シナリオ（概要）

（１）訓練の設定

多数傷病者の発生事案と国民保護事態認定事案への対応

（２）訓練における前提

① 事案発生日

平成 26 年 11 月 7 日（金）

② 事案発生日の天候

散歩日和の 11 月の平均気温・平均風速とする。

③ 事案発生日までの国内外状況

国内外問わず一切のテロ活動、テロ情報はなし。

④ 各機関の状況

発生事案への対処を、各機関はそれぞれの機関の事務室（対策本部）等であたっているものとする。

⑤ その他

- a) 訓練進行上、NBCテロの疑いは無いものとする。
- b) 事案を起こした犯人・犯行グループは、訓練時間中には確保されないものとする。

（３）訓練想定概要

11 月 7 日：午前中

- ・ 県外他都市で事案〔他①〕が発生
- ・ 昼のニュースで、事案〔他①〕について報道

11月7日：午後

- ・午前中と同じ都市で事案〔他②〕が発生。負傷者あり
- ・午後のニュースで、事案〔他①〕と〔他②〕が合わせて報道

【フェーズ1】

11月7日：午後

- ・他都市での事案〔他②〕発生後、本市の田浦署管内で爆発事案〔横①〕が発生
- ・事案〔横①〕を受け、各機関は事案への対処を実施
- ・国や警察・マスコミへ犯行声明が届く。国は連続犯の可能性が高いと判断

【フェーズ2】

- ・田浦署管内での爆発事案〔横①〕に続き、横須賀署管内でも爆発事案〔横②〕が発生
- ・多数の負傷者が発生している模様であるが詳細は不明
- ・市内爆発事案〔横②〕と同タイミングで他市でも爆発事案〔他③〕が発生。国が事態認定し、要避難地域が指定
- ・事案〔横②〕を受け、各機関は事案への対処を実施

<様式1>

訓 練

状況付与票

| | | | |
|--|-----------------------|----------------|-------|
| 状況付与先 | 全機関 | フェーズ | フェーズ1 |
| 付 与 元 | NHKニュース | 付与番号 | 4 |
| | | 付与時間 (訓練時間) | 13:40 |
| 件名 | 【他①】【他②】京都市の爆発事案のニュース | | |
| <p><付与事項> 臨時ニュースです。 「本日昼過ぎに、【他②】京都市の宝が池運動施設で発生した爆発事故では、施設の従業員1名が死亡したほか、施設を利用していた市民10名が重軽傷を負いました。 なお、警察では、午前中に【他①】京都市の西京極運動公園の駐車場で発生した車両の爆発火災と同一犯によるものとの見方を強めています。」</p> | | | |
| <p><付与に対する対応の概要メモ> 特段の対応があれば、この付与票に記入ください</p> | | | |

様式2

関係機関連絡票

| 送 付 先 | | ← | 発 信 者 | |
|--|--|---|--|--|
| <input type="checkbox"/> 陸上自衛隊第 31 普通科連隊 | | | <input type="checkbox"/> 陸上自衛隊第 31 普通科連隊 | |
| <input type="checkbox"/> 神奈川県警察本部 | | | <input type="checkbox"/> 神奈川県警察本部 | |
| <input type="checkbox"/> 横須賀警察署 | | | <input type="checkbox"/> 横須賀警察署 | |
| <input type="checkbox"/> 田浦警察署 | | | <input type="checkbox"/> 田浦警察署 | |
| <input type="checkbox"/> 神奈川県安全防災局 | | | <input type="checkbox"/> 神奈川県安全防災局 | |
| <input type="checkbox"/> 神奈川県横三地域県政総合 C | | | <input type="checkbox"/> 神奈川県横三地域県政総合 C | |
| <input type="checkbox"/> 横須賀市消防局 | | | <input type="checkbox"/> 横須賀市消防局 | |
| <input type="checkbox"/> 横須賀市市民安全部 | | | <input type="checkbox"/> 横須賀市市民安全部 | |
| <input type="checkbox"/> | | | <input type="checkbox"/> | |
| 発 信 時 間 | | | | |
| 連絡・要請内容 | | | | |
| ＜連絡に対する対応の概要メモ＞ | | | | |
| | | | | |

様式3（A0サイズ・横）

時系列対応記録票

機関名

| No. | 時間 | 受信元 | 送信先 | 受信の概要 （把握した事項） | 行った対応 （連絡した事項） |
|-----|----|-----|-----|-------------------|-------------------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

平成26年度 横須賀市国民保護訓練 次第

1. 開 会

2. オリエンテーション

(1) 訓練方法の概要及び前提状況の説明

(2) 演習グループ毎の作戦会議

3. 図上訓練

第1部 図上訓練 (13:30～15:10)

(休憩 10分)

第2部 検 討 会 (15:20～17:00)

(1) 訓練想定及び状況付与の意図の説明

(2) 機関ごとによる討論・振り返り

(3) 各機関からの発表

発表順 ①横須賀市市民安全部 ②横須賀市消防局
 ③神奈川県 ④神奈川県警察本部
 ⑤横須賀警察署 ⑥田浦警察署
 ⑦陸上自衛隊

(4) 討論・意見交換会

(5) 講評(防衛大学校国際関係学科 宮坂直史 教授)

4. 閉 会

1- ③参加者名簿

平成26年度横須賀市国民保護訓練 参加者・視察者名簿

| | 機関名 | 役職名 | 氏 名 | 参加者区分 |
|----|------------------|--------------|--------|---------|
| 1 | 防衛大学校 | 国際関係学科教授 | 宮坂 直史 | 監修者 |
| 2 | 陸上自衛隊第31普通科連隊 | 運用訓練幹部 | 田村 佳津人 | 参加者 |
| 3 | | 訓練陸曹 | 佐藤 哲也 | |
| 4 | 神奈川県警察本部 | 危機管理対策課 課長補佐 | 菅原 孝行 | |
| 5 | | 危機管理対策課 | 佐藤 泰生 | |
| 6 | | 危機管理対策課 | 勝又 篤 | |
| 7 | | 警備課 課長補佐 | 渡邊 厚司 | |
| 8 | | 警備課 | 田中 英之 | |
| 9 | 田浦警察署 | 警備課 警部補 | 池田 正夫 | |
| 10 | | 警備課 | 古中 智 | |
| 11 | 横須賀警察署 | 警備課 係長 | 仲野 祐一 | |
| 12 | | 警備課 班長 | 若林 潤 | |
| 13 | 神奈川県 | 危機管理対策課長 | 佐川 範久 | |
| 14 | | 危機管理対策課 主事 | 豊田 新吾 | |
| 15 | 県横須賀三浦地域県政総合センター | 県民・安全防災課長 | 豊田 彰 | |
| 16 | | 副主幹 | 廣井 学 | |
| 17 | | 主査 | 秋田 芳巳 | |
| 18 | 横須賀市消防局 | 消防・救急課長 | 中丸 浩昭 | |
| 19 | | 消防・救急課 課長補佐 | 山森 誠 | |
| 20 | | 消防・救急課 係長 | 穴戸 真也 | |
| 21 | | 消防・救急課 主任 | 高梨 晋 | |
| 22 | | 消防・救急課 主任 | 鈴木 崇幸 | |
| 23 | | 消防・救急課 | 山田 宏樹 | |
| 24 | | 情報調査課 課長補佐 | 高橋 哲也 | |
| 25 | 横須賀市 | 市民安全部長 | 鈴木 正志 | |
| 26 | | 危機管理課長 | 小貫 和昭 | |
| 27 | | 危機管理課 係長 | 鈴木 和人 | |
| 28 | | 危機管理課 係長 | 山本 修三 | |
| 29 | | 危機管理課 主任 | 黒瀧 悟 | |
| 30 | | 危機管理課 | 石川 貴史 | |
| 31 | 防衛大学校 | 公共政策学科准教授 | 加藤 健 | 視察者 |
| 32 | 海上自衛隊横須賀地方総監部 | 国民保護調整専門官 | 大村 元文 | |
| 33 | 横須賀海上保安部 | 警備救難課長 | 網 信幸 | |
| 34 | | 第二警備係 | 町田 澄人 | |
| 35 | 浦賀警察署 | 警備課長 | 藤井 秋光 | |
| 36 | | 巡查部長 | 牧田 明浩 | |
| 37 | 逗子市 | 経営企画部防災課課長補佐 | 坂巻 武 | |
| 38 | 三浦市 | 防災課長 | 高垣 秀樹 | |
| 39 | | 防災課主任 | 藤崎 敦 | |
| 40 | 横須賀市 | 危機管理課 課長補佐 | 村松 健二 | コントローラー |
| 41 | | 危機管理課 | 西ヶ谷 和孝 | 運営補助 |
| 42 | | 危機管理課 係長 | 鈴木 宏史 | |
| 43 | | 危機管理課 主任 | 佐藤 圭 | |
| 44 | | 危機管理課 | 山口 純一 | |
| 45 | | 危機管理課 | 井村 寛明 | |
| 46 | | 地域安全課 | 伊藤 哲也 | |

1- ④状況付与一覧

| NO | フェーズ | 付与番号 | 付与区分 | 付与時間 | 件名 | 付与元 | 付与先 | 付与本文 | 回答方法 |
|----|-------|------|------|-------|-------------------------|----------|------|--|------------------------|
| 1 | 前提情報 | 前1 | 状況 | - | 京都市右京区で車両爆発発生 | 前提提示 | 全機関 | 西京極総合運動公園の駐車場に停車中の車で爆発・火災発生。原因は調査中であるが、車両は盗難車の模様。 負傷者は10名程度で、半径200メートルの範囲に影響があった。地面には大きな穴があき、隣接施設のコンクリート製の壁が崩れている。 | - |
| 2 | 前提情報 | 前2 | 状況 | - | NHKニュース | 前提提示 | 全機関 | 正午のニュース 京都市の西京極総合運動公園の駐車場で発生した車両の火災は、警察の現場検証により、何者かが車に仕掛けた爆発物によるものであるとの見方が強まっている。 | - |
| 3 | 前提情報 | 前3 | 状況 | - | 京都市左京区の施設内で爆発発生 | 前提提示 | 全機関 | 宝が池運動施設の男子トイレで爆発発生。現場にいた清掃員が心肺停止の状態、施設利用者10数名が負傷。病院に搬送される。 | - |
| 4 | フェーズ1 | 1-1 | 状況 | 13:30 | 【横①】110番通報 北体育館で爆発事案発生 | 北体育館スタッフ | 県警本部 | 横須賀市立北体育館で爆発【横①】があった、という110番通報が入電しました。 入電内容は別紙のとおりです。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 5 | フェーズ1 | 1-2 | 状況 | 13:30 | 【横①】110番通報 北体育館で爆発事案発生 | 北体育館スタッフ | 田浦署 | 横須賀市立北体育館で爆発【横①】があった、という110番通報が入電しました。 入電内容は別紙のとおりです。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 6 | フェーズ1 | 2-1 | 状況 | 13:30 | 【横①】119番通報 北体育館で爆発事案発生 | 周辺住民 | 消防 | 横須賀市立北体育館で爆発【横①】があった、という119番通報が入電しました。 入電内容は別紙のとおりです。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 7 | フェーズ1 | 3 | 報告 | 13:36 | 【横①】消防出動、火災・災害等速報第1報 | 現地消防隊 | 消防 | 消防隊が北体育館に到着。NBC検知活動及び救助活動を開始しました。 なお、10名の負傷者が事務室で救護を受けているほか、3階の爆発現場付近に10名近くの負傷者がまだいる模様です。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 8 | フェーズ1 | 4 | ニュース | 13:40 | 【他①】【他②】京都市の爆発事案のニュース | NHKニュース | 全機関 | 臨時ニュースです。 「本日昼過ぎに、【他②】京都市の宝が池運動施設で発生した爆発事故では、施設の従業員1名が死亡したほか、施設を利用していた市民10名が重軽傷を負いました。 なお、警察では、午前中に【他①】京都市の西京極運動公園の駐車場で発生した車両の爆発火災と同一犯によるものとの見方を強めています。」 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 9 | フェーズ1 | 5 | 問合せ | 13:42 | 市民等からの問い合わせ | 夏島町周辺住民 | 市 | ニュースで京都の事件を見たが、近所で大きな爆発音があった。外に出て見たら焦げ臭いにおいがする。何が起きたのか。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 10 | フェーズ1 | 6 | 報告 | 13:46 | 【横①】消防隊、爆発現場に立入禁止区域設定完了 | 現地消防隊 | 消防 | 1 爆発現場周囲に、警察と共同して消防警戒区域の設定を完了しました。消防警戒区域の範囲は別図のとおりです。 2 また、NBC簡易測定の結果、爆発現場での検知は現在のところありませんでした。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 11 | フェーズ1 | 7-1 | 報告 | 13:46 | 【横①】警察、爆発現場に立入禁止区域設定完了 | 田浦署警察官 | 県警本部 | 1 爆発現場周囲に、消防と共同して消防警戒区域の設定を完了しました。消防警戒区域の範囲は別図のとおりです。 2 また、消防によるNBC簡易測定の結果、爆発現場での検知は現在のところありませんでした。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |

| | | | | | | | | | |
|----|-------|------|------|-------|------------------------|--------------|------|--|------------------------|
| 12 | フェーズ1 | 7-2 | 報告 | 13:46 | 【横①】警察、爆発現場に立入禁止区域設定完了 | 田浦署警察官 | 田浦署 | 1 爆発現場周囲に、消防と共同して消防警戒区域の設定を完了しました。消防警戒区域の範囲は別図のとおりです。 2 また、消防によるNBC簡易測定の結果、爆発現場での検知は現在のところありませんでした。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 13 | フェーズ1 | 8 | 報告 | 13:50 | 【横①】消防、現地調整所からの報告 | 現地消防隊 | 消防 | 北体育館の爆発【横①】現場の負傷者状況及び活動状況等は、別紙のとおりです。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 14 | フェーズ1 | 9 | 報告 | 13:54 | 犯行声明と犯行予告の報告 | 警察庁 | 県警本部 | 内閣官房から警察庁を経由しての情報です。テロ組織からの犯行声明と更なる犯行予告と思われる文書が届きました。 「本日、国内の2か所で我が組織は制裁を行った。これは警告である。我々の血税を無駄にするオリンピックを旗印にしたハコモノ行政と自然破壊の即時中止を求める！！その実現のために我々は今後も戦い続ける。大きな犠牲が我が国を正しい道へと導くであろう。」 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 15 | フェーズ1 | 10-1 | 状況 | 13:58 | 横浜市・横須賀市の受け入れ可能情報（1報） | 神奈川県保健福祉局 | 県 | EMIS情報（広域災害救急医療情報システム）によると、現在の受入可能病院は別紙のとおりです。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 16 | フェーズ1 | 10-2 | 状況 | 13:58 | 横浜市・横須賀市の受け入れ可能情報（1報） | 神奈川県保健福祉局 | 消防 | EMIS情報（広域災害救急医療情報システム）によると、現在の受入可能病院は別紙のとおりです。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 17 | フェーズ1 | 11 | ニュース | 14:00 | 【横①】市内の爆発事案のニュース | 各局ニュース速報テロップ | 全機関 | ニュース速報 「午後1時20分頃、横須賀市夏島町の北体育館で爆発発生。多数の負傷者が発生しており、警察は京都市との爆発事件との関連を調査しております。」 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 18 | フェーズ1 | 12 | 問合せ | 14:02 | 市医師会からの問い合わせ | 市医師会会長 | 市 | ニュースで京都の事件を見た。爆発事案に対し、医師や看護師の対応が必要であれば連絡をもらいたい。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 19 | フェーズ1 | 13 | 報告 | 14:06 | 警察庁対策本部の設置等 | 警察庁 | 県警本部 | 1 京都での爆発と横須賀での爆発は、連続爆破であると判断しました。 2 警察庁では警察庁次長を長とする対策本部を設置し、都道府県警察に対し、各事案の情報を提供するとともに、以下の指示をしました。 ①爆破テロに備えた対処体制の確立 ②集客施設等管理者へ警備強化の要請 ③警戒警備の強化（特に、危険物質内在施設） | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 20 | フェーズ1 | 14 | 状況 | 14:06 | 防衛会議の開催 | 防衛省 | 31連隊 | 警察庁は、京都での爆発と横須賀での爆発は、連続爆破であると判断しました。これを受け、防衛省では防衛会議を開催し、対応を検討しています。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 21 | フェーズ1 | 15 | 報告 | 14:10 | 情報連絡室設置及び消防機関への情報提供 | 消防庁 | 市消防 | 1 警察庁は、京都での爆発と横須賀での爆発は、連続爆破であると判断しました。これを受け、消防庁では、消防庁情報連絡室（第2次応急体制）を設置しました。 2 都道府県を通じて、全国の消防機関に爆発事案発生時の情報提供を行いました。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 22 | フェーズ1 | 16 | 問合せ | 14:10 | 情報連絡室設置及び消防機関への情報提供 | 県福祉局 | 県 | 県福祉局から、神奈川DMATもしくはDMATの派遣の必要があるか。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |

| | | | | | | | | | |
|----|-------|------|-----|-------|---------------------------|-------------|------|--|------------------------|
| 23 | フェーズ1 | 17-1 | 問合せ | 14:14 | マスコミからの問い合わせ | 神奈川新聞 | 市 | 現在の対応状況と負傷者の搬送状況を確認したい。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 24 | フェーズ1 | 17-2 | 問合せ | 14:14 | マスコミからの問い合わせ | 神奈川新聞 | 県 | 現在の対応状況と負傷者の搬送状況を確認したい。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 25 | フェーズ1 | 17-3 | 問合せ | 14:14 | マスコミからの問い合わせ | 神奈川新聞 | 田浦署 | 現在の対応状況と負傷者の搬送状況を確認したい。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 26 | フェーズ1 | 17-4 | 問合せ | 14:14 | マスコミからの問い合わせ | 神奈川新聞 | 消防 | 現在の対応状況と負傷者の搬送状況を確認したい。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 27 | フェーズ1 | 18 | 報告 | 14:20 | バス運行停止の連絡 | 京急バス | 市 | 横浜京急バス追浜営業所の浜田です。 本営業所の北体育館付近を通過する次の路線について、運行を停止しました。 〈追3〉追浜駅～夏島 〈追6〉追浜駅～住友重機械 〈追7〉追浜駅～深浦循環～追浜駅 〈追8〉追浜駅～日産研究所 〈田17〉追浜駅～深浦～田浦駅 〈文15〉追浜車庫前～町屋～金沢文庫駅 〈4〉追浜車庫や夏島と磯子駅を結ぶ各路線 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 28 | フェーズ1 | 19-1 | 報告 | 14:20 | テロ対策の徹底・点検の指示 | 国土交通省 | 県 | 国土交通省は、全国の地方支分部局等を通じて、公共交通機関及び重要施設の管理者に対し、更なるテロ対策の徹底と点検を指示したので、連絡します。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 29 | フェーズ1 | 19-2 | 報告 | 14:20 | テロ対策の徹底・点検の指示 | 国土交通省 | 県警本部 | 国土交通省は、全国の地方支分部局等を通じて、公共交通機関及び重要施設の管理者に対し、更なるテロ対策の徹底と点検を指示したので、連絡します。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 30 | フェーズ1 | 19-3 | 報告 | 14:20 | テロ対策の徹底・点検の指示 | 国土交通省 | 市 | 国土交通省は、全国の地方支分部局等を通じて、公共交通機関及び重要施設の管理者に対し、更なるテロ対策の徹底と点検を指示したので、連絡します。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 31 | フェーズ1 | 20 | 問合せ | 14:24 | バス運行停止の連絡 | 京急バス | 田浦署 | 日産工場など工業地帯周辺のバス運行再開にあたって、今後の方針を教えてください。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 32 | フェーズ1 | 21 | 報告 | 14:26 | 近隣小中学校の措置 | 教育委員会 | 市 | 追浜中学校と夏島小学校については、このあと14時から集団下校させる。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 33 | フェーズ1 | 22 | 報告 | 14:26 | 近隣高等学校の措置 | 県教育委員会 | 県 | 県立追浜高校は、このあと14時以降の授業を中止し、生徒を下校させる。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 34 | フェーズ1 | 23 | 報告 | 14:30 | 警察庁から県警への指示 | 警察庁 | 県警本部 | 警察庁は神奈川県警に対し、大規模集客施設等における不審物検索の徹底について、指示をしました。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 35 | フェーズ2 | 24-1 | 状況 | 14:40 | 【横②】110番通報 横須賀アリーナで爆発事案発生 | 公園利用者 | 県警本部 | 横須賀アリーナ【横②】で爆発があった、という110番通報が入電しました。 入電内容は別紙のとおりです。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 36 | フェーズ2 | 24-2 | 状況 | 14:40 | 【横②】110番通報 横須賀アリーナで爆発事案発生 | 公園利用者 | 横須賀署 | 横須賀アリーナで爆発【横②】があった、という110番通報が入電しました。 入電内容は別紙のとおりです。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 37 | フェーズ2 | 25 | 状況 | 14:40 | 【横②】119番通報 横須賀アリーナで爆発事案発生 | 横須賀アリーナスタッフ | 消防 | 横須賀アリーナで爆発【横②】があった、という119番通報が入電しました。 入電内容は別紙のとおりです。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |

| | | | | | | | | | |
|----|-------|------|----|-------|-------------------------|---------|------|---|------------------------|
| 38 | フェーズ2 | 26 | 報告 | 14:44 | 国民保護等派遣の準備指示 | 防衛省 | 31連隊 | 防衛大臣は、防衛会議の結果、事態認定の可能性が大きいと判断し、自衛隊の国民保護等派遣に向けての準備を開始するよう指示をしました。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 39 | フェーズ2 | 27-1 | 報告 | 14:50 | 【横②】110番通報 不審なグループの目撃通報 | 上町の住民 | 県警本部 | 横須賀アリーナでの爆発【横②】の後、上町の商店街を不審な2人が横須賀中央駅方面に走って逃げていくのを目撃したとの110番通報が入電しました。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 40 | フェーズ2 | 27-2 | 報告 | 14:50 | 【横②】110番通報 不審なグループの目撃通報 | 上町の住民 | 横須賀署 | 横須賀アリーナでの爆発【横②】の後、上町の商店街を不審な2人が横須賀中央駅方面に走って逃げていくのを目撃したとの110番通報が入電しました。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 41 | フェーズ2 | 28 | 報告 | 14:54 | 【横②】消防隊、爆発現場に立入禁止区域設定完了 | 現地消防隊 | 消防 | 1 爆発現場周囲に、警察と共同して消防警戒区域の設定を完了しました。消防警戒区域の範囲は別図のとおりです。 2 また、NBC簡易測定の結果、爆発現場での検知は現在のところありませんでした。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 42 | フェーズ2 | 29-1 | 報告 | 14:54 | 【横②】警察、爆発現場に立入禁止区域設定完了 | 横須賀署警察官 | 県警本部 | 1 爆発現場周囲に、消防と共同して消防警戒区域の設定を完了しました。消防警戒区域の範囲は別図のとおりです。 2 また、消防によるNBC簡易測定の結果、爆発現場での検知は現在のところありませんでした。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 43 | フェーズ2 | 29-2 | 報告 | 14:54 | 【横②】警察、爆発現場に立入禁止区域設定完了 | 横須賀署警察官 | 横須賀署 | 1 爆発現場周囲に、消防と共同して消防警戒区域の設定を完了しました。消防警戒区域の範囲は別図のとおりです。 2 また、消防によるNBC簡易測定の結果、爆発現場での検知は現在のところありませんでした。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 44 | フェーズ2 | 30 | 報告 | 14:56 | バス運行停止の連絡 | 京急バス | 市 | 京浜空港バス衣笠営業所の西川です。 本営業所の不入斗育館付近を通過する次の路線について、運行を停止しました。 〈須17〉JR横須賀駅～坂本坂上～鶴久保小学校 〈須18〉JR横須賀駅～総合体育会館～衣笠駅 〈須20・21〉JR横須賀駅～鶴が丘循環～JR横須賀駅 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 45 | フェーズ2 | 31 | 報告 | 15:00 | 【横②】現地調整所からの報告(1報) | 現地消防隊 | 消防 | 【横②】横須賀アリーナの爆発現場の負傷者の状況を報告しています。 内訳は、別紙のとおりです。 心肺停止 1名、重傷者4名、その他負傷者40名 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 46 | フェーズ2 | 32-1 | 報告 | 15:02 | 横浜市・横須賀市の受け入れ可能情報(2報) | 県福祉局 | 県 | EMIS情報(広域災害救急医療情報システム)によると、現在の受入可能病院は別紙のとおりです。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 47 | フェーズ2 | 32-2 | 報告 | 15:02 | 横浜市・横須賀市の受け入れ可能情報(2報) | 県福祉局 | 消防 | EMIS情報(広域災害救急医療情報システム)によると、現在の受入可能病院は別紙のとおりです。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |

| | | | | | | | | | |
|----|-------|------|------|-------|--------------------------|--------------|------|---|------------------------|
| 48 | フェーズ2 | 33-1 | 報告 | 15:06 | 【他③】横浜市の日産スタジアムで爆発事案発生 | 県警本部 | 31連隊 | <p><県警からの情報提供> 横浜市の日産スタジアムで爆発【他③】があった、という110番通報がありました。入電内容は別紙のとおりです。</p> <p>※この付与の対象は県・自衛隊のみとしています。つきましては、連絡票の県・自衛隊間のみの対応とします。</p> | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 49 | フェーズ2 | 33-2 | 報告 | 15:06 | 【他③】横浜市の日産スタジアムで爆発事案発生 | 県警本部 | 県 | <p><県警からの情報提供> 横浜市の日産スタジアムで爆発【他③】があった、という110番通報がありました。入電内容は別紙のとおりです。</p> <p>※この付与の対象は県・自衛隊のみとしています。つきましては、連絡票の県・自衛隊間のみの対応とします。</p> | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 50 | フェーズ2 | 34-1 | 報告 | 15:06 | 【横②】不審車両内に爆発物らしき物を発見（1報） | 現場警察官 | 県警本部 | <p>横須賀アリーナ【横②】の現場警察官からの情報です。</p> <p>現地駐車場で見つけた不審車両内の助手席で口の開いたバッグが置いてありました。中にリード線が繋がっている爆発物らしき物を発見したという報告がありました。</p> | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 51 | フェーズ2 | 34-2 | 報告 | 15:06 | 【横②】不審車両内に爆発物らしき物を発見（1報） | 現場警察官 | 横須賀署 | <p>横須賀アリーナ【横②】の現場警察官からの情報です。</p> <p>現地駐車場で見つけた不審車両内の助手席で口の開いたバッグが置いてありました。中にリード線が繋がっている爆発物らしき物を発見したという報告がありました。</p> | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 52 | フェーズ2 | 35 | ニュース | 15:10 | 【横②、他③】爆発事案のニュース | 各局ニュース速報テロップ | 全機関 | <p>ニュース速報 「午後2時頃、横須賀市不入斗町の横須賀アリーナで爆発が発生しました。また、2時10分頃には横浜市に日産スタジアムでも爆発があり、2か所で多数の負傷者が発生している模様です。」</p> | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 53 | フェーズ2 | 36 | 問合せ | 15:10 | 国立病院機構及び日赤への情報提供 | 県福祉局 | 県 | <p>厚生労働省からの情報提供です。</p> <p>厚生労働省は、国立病院機構及び日本赤十字社本社に対し、負傷者救護の支援依頼をしましたので、連絡します。</p> | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 54 | フェーズ2 | 37 | 報告 | 15:10 | 【横②】現地調整所からの報告（2報） | 現地消防隊 | 消防 | <p>横須賀アリーナの爆発【横②】現場の負傷者の状況を報告しています。</p> <p>内訳は、別紙のとおりです。</p> <p>心肺停止 5名、その他負傷者20名</p> <p>※1報では負傷者を40名と報告していたが、ダブルカウントをしていたため、20名と修正報告</p> | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 55 | フェーズ2 | 38 | 問合せ | 15:14 | ドクターヘリ運航の打診 | 千葉県 | 県 | <p>1 千葉県ドクターヘリ1機の出動準備が整っています。順天堂大学医学部附属浦安病院で重症者2名の受入が可能です。なお、往路で医師2名の輸送が可能であり、うち1名は現場活動の支援が可能です。</p> <p>2 ヘリの派遣は必要でしょうか。必要な場合は役割とヘリポートの指定をお願いします。</p> | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 56 | フェーズ2 | 39-1 | 報告 | 15:18 | 不審車両内に爆発物らしき物を発見（2報） | 現地警察官 | 県警本部 | <p>現地警察官からの報告です。横須賀アリーナ【横②】現地駐車場で見つけた不審車両内の爆発物らしきものの画像を別紙のとおり送付します。</p> | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 57 | フェーズ2 | 39-2 | 報告 | 15:18 | 不審車両内に爆発物らしき物を発見（2報） | 現地警察官 | 横須賀署 | <p>現地警察官からの報告です。横須賀アリーナ【横②】現地駐車場で見つけた不審車両内の爆発物らしきものの画像を別紙のとおり送付します。</p> | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |

| | | | | | | | | | |
|----|-------|------|------|-------|--------------------------|---------|-----|---|------------------------|
| 58 | フェーズ2 | 40-1 | 報告 | 15:20 | 事態認定 | Em-Net | 県 | Em-Netにて、緊急対処事態の事態認定の旨の連絡が全国に通知されました。内容は次のとおりです。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 59 | フェーズ2 | 40-2 | 報告 | 15:20 | 事態認定 | Em-Net | 市 | Em-Netにて、緊急対処事態の事態認定の旨の連絡が全国に通知されました。内容は次のとおりです。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 60 | フェーズ2 | 41 | 状況 | 15:20 | 緊急対処事態対策本部の設置 | 警察庁 | 全機関 | 警察庁は、政府の緊急対処事態の認定に伴い、警察庁緊急対処事態対策本部を設置しました。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 61 | フェーズ2 | 42 | 状況 | 15:20 | 緊急対処事態対策本部の設置 | 消防庁 | 全機関 | 消防庁は、政府の緊急対処事態の認定に伴い、消防庁緊急対処事態対策本部を設置しました。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 62 | フェーズ2 | 43 | 状況 | 15:20 | 各省、緊急対処事態対策本部の設置 | 各省 | 全機関 | 各省は、政府の緊急対処事態の認定に伴い、各省緊急対処事態対策本部を設置しました。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 63 | フェーズ2 | 44-1 | 報告 | 15:24 | 警報の発令の通知及び避難措置の指示の通知 | 消防庁 | 県 | 消防庁は、神奈川県知事に対し、警報の発令の通知及び避難措置の指示の通知をしました。通知内容は次のとおりです。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 64 | フェーズ2 | 44-2 | 報告 | 15:24 | 警報の発令の通知及び避難措置の指示の通知 | 消防庁 | 市 | 消防庁は、神奈川県知事に対し、警報の発令の通知及び避難措置の指示の通知をしました。通知内容は次のとおりです。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 65 | フェーズ2 | 45 | ニュース | 15:26 | 事態認定の臨時ニュース | NHKニュース | 全機関 | 臨時ニュースです。「政府は臨時閣議を開き、京都府京都市、神奈川県横浜市及び横須賀市で発生した連続爆発事案を緊急対処事態に認定し、政府に緊急対処事態対策本部を設置するとともに、京都府と京都府京都市、神奈川県と神奈川県横浜市、横須賀市に緊急対処事態対策本部を設置するよう指示しました。 また、京都府全域と神奈川県全域に警報を発令するとともに、横須賀市不入斗町の横須賀アリーナ横の駐車場で爆発物を積んでいると思われる不審車両が発見されたことから、周辺の住民について、避難措置を講じるよう、神奈川県知事に指示しました。」 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 66 | フェーズ2 | 46 | 状況 | 15:30 | 管下鉄道・バス事業者へテロ対策の徹底・点検の指示 | 関東運輸局 | 県 | 国土交通省から、公共交通機関等におけるテロ対策の徹底・点検の指示があり、管下の鉄道・バス事業者に同指示を行いましたので、連絡します。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |
| 67 | フェーズ2 | 47-1 | 状況 | 15:30 | 管下重要施設管理者へテロ対策の徹底・点検の指示 | 関東地方整備局 | 県 | 国土交通省から、重要施設におけるテロ対策の徹底・点検の指示があり、横浜港、川崎港、横須賀港の施設管理者に同指示を行いましたので、連絡します。 | 特段の対応があれば、この付与票に記入ください |

| | | | | | | | | | |
|----|-------|------|-----|-------|---------------------------------|-------------|------|--|--------------------------------|
| 68 | フェーズ2 | 47-2 | 状況 | 15:30 | 管下重要施設管理者 へテロ対策の徹底・点 検の指示 | 関東地方整 備局 | 市 | 国土交通省から、重要施設におけるテロ対策 の徹底・点検の指示があり、横浜港、川崎港、 横須賀港の施設管理者に同指示を行いました ので、連絡します。 | 特段の対応があれ ば、この付与票に記 入ください |
| 69 | フェーズ2 | 48 | 状況 | 15:30 | 国民保護等派遣の下 令 | 防衛省 | 31連隊 | 防衛省は、防衛会議を開催し、総理大臣の承 認を受けた国民保護等派遣を下令しました。 | 「時系列対応記録 票」に対応を記入く ださい |
| 70 | フェーズ2 | 49-1 | 問合せ | 15:34 | マスコミからの問い合 わせ | 神奈川新聞 | 市 | 現在の対応状況と負傷者の搬送状況を確認し たい。 | 特段の対応があれ ば、この付与票に記 入ください |
| 71 | フェーズ2 | 49-2 | 問合せ | 15:34 | マスコミからの問い合 わせ | 神奈川新聞 | 県 | 現在の対応状況と負傷者の搬送状況を確認し たい。 | 特段の対応があれ ば、この付与票に記 入ください |
| 72 | フェーズ2 | 49-3 | 問合せ | 15:34 | マスコミからの問い合 わせ | 神奈川新聞 | 横須賀署 | 現在の対応状況と負傷者の搬送状況を確認し たい。 | 特段の対応があれ ば、この付与票に記 入ください |
| 73 | フェーズ2 | 49-4 | 問合せ | 15:34 | マスコミからの問い合 わせ | 神奈川新聞 | 消防 | 現在の対応状況と負傷者の搬送状況を確認し たい。 | 特段の対応があれ ば、この付与票に記 入ください |
| 74 | フェーズ2 | 50-1 | 状況 | 15:40 | 総理指示の連絡 | 総務省消防 庁 | 県 | 今回発生した事案に関し「総理指示」が3点 ありましたので連絡します。 ① 人命の確保を第一に、被災者の救出救助 に全力を尽くすこと ② 続発事案発生防止のための警戒・警備の 強化を行うとともに情報収容態勢の強化を行うこと ③ 国民への迅速・適切な情報提供を行うこと | 特段の対応があれ ば、この付与票に記 入ください |
| 75 | フェーズ2 | 50-2 | 状況 | 15:40 | 総理指示の連絡 | 総務省消防 庁 | 市 | 今回発生した事案に関し「総理指示」が3点 ありましたので連絡します。 ① 人命の確保を第一に、被災者の救出救助 に全力を尽くすこと ② 続発事案発生防止のための警戒・警備の 強化を行うとともに情報収容態勢の強化を行うこと ③ 国民への迅速・適切な情報提供を行うこと | 特段の対応があれ ば、この付与票に記 入ください |
| 76 | フェーズ2 | 50-3 | 状況 | 15:40 | 総理指示の連絡 | 総務省消防 庁 | 消防 | 今回発生した事案に関し「総理指示」が3点 ありましたので連絡します。 ① 人命の確保を第一に、被災者の救出救助 に全力を尽くすこと ② 続発事案発生防止のための警戒・警備の 強化を行うとともに情報収容態勢の強化を行うこと ③ 国民への迅速・適切な情報提供を行うこと | 特段の対応があれ ば、この付与票に記 入ください |
| 77 | フェーズ2 | 51-1 | 報告 | 15:44 | 【横①】【横②】現場の 活動報告 | 現地警察官 | 田浦署 | 北体育館【横①】および横須賀アリーナ【横②】 周辺を捜索しているが、現時点においてはサブ アリーナ横の不審車両以外の爆発物は発見さ れていません。 | 「時系列対応記録 票」に対応を記入く ださい |
| 78 | フェーズ2 | 51-2 | 報告 | 15:44 | 【横①】【横②】現場の 活動報告 | 現地警察官 | 横須賀署 | 北体育館【横①】および横須賀アリーナ【横②】 周辺を捜索しているが、現時点においてはサブ アリーナ横の不審車両以外の爆発物は発見さ れていません。 | 「時系列対応記録 票」に対応を記入く ださい |

| | | | | | | | | | |
|----|-------|----|-----|-------|-----------------------|-----------|------|--|----------------------|
| 79 | フェーズ2 | 52 | 問合せ | 15:50 | ベ이스ターズからイベントの確認 | ベ이스ターズ関係者 | 田浦署 | 明日8日(土)に長浦の総合練習場でファン感謝祭を予定しています。関東一円から約1万人のファンが集まり、非常に楽しみにしている。開催しても問題ないだろうか？ | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 80 | フェーズ2 | 53 | 問合せ | 15:50 | 神奈川衛生学園専門学校からの入試実施の確認 | 入試担当者 | 横須賀署 | 明後日9日(日)に一般入試を予定しており、多数の受験者が来校します。予定通り開催しても問題ないだろうか？ | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |
| 81 | フェーズ2 | 54 | 問合せ | - | 自衛隊への協力要請 | 市長 | 市 | 住民避難や避難誘導の職員が足りていないようだ。警察も爆発物現場を複数抱えているため、避難誘導に人手を割けられない状況に見える。 陸上自衛隊に協力要請してはどうか。要請を受けてもらえる場合は、どのように支援してもらおうかを考えてほしい。 | 「時系列対応記録票」に対応を記入ください |

2 訓練実施の趣旨

横須賀市国民保護訓練の実施趣旨について

横須賀市市民安全部危機管理課
(訓練事務局・コントローラー)

本市の国民保護訓練は、平成 19 年度から毎年実施し、今回の訓練で 8 回目となりました。

これまでは、図上訓練と実動訓練をほぼ交互に行ってきましたが(下表参照)、幸いな事に過去国内において国民保護法適用の事例が無いことや、これまでの訓練ではコントローラーからの多くの状況付与をこなす事に全精力が注がれる傾向があったこと、また、シナリオに沿った実動訓練の実施であったため、関係機関との連携や国民保護法の制度そのものの理解を得る時間や場が無く、訓練後には毎回のように疑問点が残っていました。

特に、避難実施要領のパターン作成の手引き(平成 23 年 10 月:消防庁国民保護室)中の「1 想定する事態の検討」において、「事態の想定をおくに当たっては、後述するとおり、都道府県による避難の指示の内容がどの程度具体的なものとなるかも問題となる。最も単純な「〇〇地区から、当該地区外に、直ちに、主要な道路を使って、適切な方法で避難する」といった指示から、避難先、経路、避難手段(交通手段)を具体的に含んだ指示までありうるが、・・・」とありますが、そもそも国からの避難措置の指示がどのように示されるのか(要避難地域がどの程度の範囲まで記載されるのか)等、過去の訓練においては、常に県も含め避難実施側の疑問となってきました。

更に、武力攻撃事態とはある一定規模の事態とそれに伴う事態認定が容易に想定できますが、緊急対処事態においては、その規模や単発発生・連続発生、そもそもの形態から事態認定の想定が難しいものであるとも考えていました。

【過去の国民保護訓練】

| 開催年度 | 開催日 | 参加団体数 | 参加者数 | 訓練種別 |
|------|---|-------|---------|-----------------|
| | 訓練内容 | | | |
| 19 年 | 19 年 12 月 13 日 | 7 機関 | 約 60 人 | 図上(Cテロ) |
| | 市中心部の駅で嘔吐、目や喉の痛みを訴え、周辺にも同様の被害発生 危機事案対策本部設置やテロ被災状況などを説明する模擬記者会見を実施 | | | |
| 20 年 | 21 年 2 月 2 日 | 11 機関 | 約 250 人 | 実動、本部、図上(爆発物対応) |
| | 原因不明の爆発物への対処。 実動:消防による救助、警察による不審物の撤去 本部:実動訓練に連携して事案発生現場の状況把握と対策検討 図上:実動・本部訓練の事案が拡大したと想定して警報伝達・避難誘導対策 | | | |
| 21 年 | 22 年 3 月 16 日 | 22 機関 | 約 350 人 | 実動(避難誘導) |
| | 現地調整所の運用訓練:要避難地域の警戒及び避難誘導を実施 避難誘導訓練:一時避難場所へ誘導し、関係機関の車両・船舶を使用して避難施設へ移動。避難施設受入訓練:避難施設へ到着した避難住民を受付し名簿の作成。 | | | |

| 開催 年度 | 開催日 | 参加団体数 | 参加者数 | 訓練種別 |
|----------|---|-------|---------|-----------|
| | 訓練内容 | | | |
| 22 年 | 22 年 12 月 21 日 | 13 機関 | 約 30 人 | 図上（Rテロ） |
| | 放射性物質を使用したテロを想定。横須賀市では日頃から放射線モニタリングを実施しており、その機能がRテロ発生時に使用出来るかを検証。 | | | |
| 23 年 | 24 年 3 月 8 日 | 19 機関 | 約 70 人 | 図上（Nテロ） |
| | 核爆弾によるテロを想定。超小型原子爆弾が市の中心に仕掛けられているとの情報により、政府は緊急処理事態に認定するとともに市全域を要避難地域に指定。市内に居住・滞在する者全員を6時間を目標に市外へ避難誘導する。 | | | |
| 24 年 | 25 年 2 月 2 日 | 20 機関 | 約 80 人 | 図上（大規模停電） |
| | 南関東エリア一帯の大規模停電を想定。事態進展につれ、給電システムへのテロである可能性が高くなり、その後、攻撃のおそれも予見される。 本市危機管理課と逗子市防災課がプレイヤーとなり、関係機関には訓練視察・評価をしてもらい、大規模停電時の自治体の対応を関係機関に知ってもらう。 | | | |
| 25 年 | 25 年 11 月 11 日・26 年 1 月 31 日 | 13 機関 | 約 100 人 | 図上・実動 |
| | 国民保護事案に達しないが、市民生活に影響を及ぼす事案が発生。 各機関が対応方針を検討・実施。 | | | |

このことから、平成 26 年度の訓練は図上訓練を基本とした 2 部構成とし、第 1 部の図上訓練で得られた疑問点や課題等を、第 2 部の検討会の場で意見交換を行う方式として実施しました。

まず、第 1 部の図上訓練ですが、約 100 分間を使い、連続爆発事案の発生という緊急処理事態の想定で実施をしました。

なお、今回の訓練目的は、事態対応活動に携わる職員の国民保護法及び国民保護計画への理解度向上と、関係機関との連携確認を目的とした上で、事態発生から事態認定後までの一連の対応について検証を行うこととしましたので完全ブラインド訓練ではなく、訓練参加機関には次の前提状況と、爆発物の爆発（前提状況に続き市内 2 か所で発生）である旨の事前付与を訓練前に示す形で実施しました。

【訓練の前提状況】

- ・事案発生日は、訓練当日の平成 26 年 11 月 7 日（金）とし、天候は、散歩日和の 11 月の平均気温・平均風速とする。
- ・事案発生日までの国内外状況は、国内外問わず一切のテロ活動、テロ情報はなく、訓練当日の午前中に京都府内で 2 件の爆発が発生した。
- ・対応にあたる各機関は、それぞれの機関の事務室や対策本部室等であたっているものとする。
- ・訓練進行上、NBCテロの疑いは無いものとする。ただし、これに関しましては事案発生後の付与の中でも明記する。
- ・事案を起こした犯人・犯行グループは、訓練時間中には確保されないものとする。

また、前述のとおり、従前の訓練では参加機関がコントローラーからの多くの状況付与をこなすだけになっていたこと、また、危機管理や災害対応においては、状況を予測することが重要と言われていることから、今回コントローラーは、状況付与と時間管理のみの最低限の役割のみとし、コントローラーが外部機関の役割をして、プレイヤーからの問い合わせや内容確認を受けて、やり取りをすることはしませんでした。

そのため、訓練に参加していない機関とのやり取りは、訓練想定等を逸脱しない範囲で、あの機関はこういう対応や判断をするであろうとプレイヤーに予測してもらい、プレイヤー内で指示や確認をした時点で完結という方式としました。

例としては、今回医療機関は参加していないので、消防が付与された状況から「病院へ重傷者の受入れ依頼をする。」と決定した場合は、“病院へ依頼をした（依頼し、受入れ可能との返事をもらった）。”との想定・仮想を可としました。ほかには、国へ要請や確認をしなければならないときは、“〇〇省に確認をし、その結果、〇〇という回答が返ってきた”と想定・仮想して、付与等に対する対応を終了することとを可としました。

ただし、想定・仮想を行うにあたっては、法や各機関策定の国民保護計画や既存のマニュアル等、また本訓練の実施計画から逸脱は禁止としました。

次に第2部の検討会ですが、自然災害は、規模は様々ですが、毎年と言ってよいほど発生しており、ある程度のスキームは出来あがっています。一方で、国民保護事態、今回の訓練では緊急対処事態でしたが、これまでに国民保護法のスキームに則った対応実例がなく、事態発生時に現場や司令部がどのような状況になるかについては知見が乏しいため、いくら訓練を行っても曖昧な部分や疑問点は多く残っていました。

そのため、図上訓練後の雰囲気は冷めないうちに、図上訓練を通じて気づいた疑問や対策実施上の問題点、そしてこれらの改善方法を参加者相互で検討・共有し、課題改善や疑問解消に結びつけることを目的に検討会を実施しました。

特に、国民保護法が発動される事態になったとしても、自然災害と同様にその被害が発生するのは市町村であり、且つその初動対応に当るのは自治体職員や消防職員、警察官となります。また、突発的な事態の原因特定が困難な場合が多いと思われ、発生後しばらくの間は通常の災害あるいは事件・事故対処の態勢で対応するものと考えられます。しかし、法に基づく事態認定後は、指揮・指示系統がボトムアップから国のトップダウンの法的枠組みに移行されるため、混乱が発生（特に司令部において）するものと考えられます。

このことから、それぞれ異なる立場における見解を共有することによって、事案対応に必要なノウハウや情報を得ることだけでなく、お互いの信頼関係を築き事案発生時の混乱防止と円滑な連携につなげることも一つの目的として実施しました。

3 訓練成果と課題

横須賀市国民保護訓練の成果と課題

横須賀市市民安全部危機管理課
(訓練事務局・コントローラー)

今回の訓練は、「1-①実施計画」にも記載したとおり、私たち事態対処活動に携わる職員の理解度の向上と、関係機関との連携確認を目的にしている、これらを確認なものにするため、図上訓練実施直後に検討会も開催しました。

まず、検討会でなされた問題提起から振り返ることとします。

1. 検討会での問題提起

(1) 自衛隊へ情報提供するタイミング

今回の訓練では、陸上自衛隊が多数傷病者事案を覚知する第一報は、ニュース速報からでしたが、自衛隊はニュース速報とは別に第一報を伝えてほしいとのことです。自衛隊内では、県下全体で活動体制を敷くため、早い段階での情報提供を希望しており、自衛隊への情報は、一括して神奈川県からもらった方が準備を整えやすいとのことです。

また、どの程度の規模・事案であれば、自衛隊に情報を伝えるべきかの判断基準については、今回のような事案の場合、1回でも爆発が起きた時点で情報を提供してほしいとのことでした。

(2) 神奈川県への情報提供

神奈川県からは、内容が重複しても構わないので、市・消防・警察それぞれが覚知した情報の提供をお願いしたいとのことでした。

神奈川県の考えなので、実際の場面でも尊重したいと思いますが、市が受け手側になった場合のことを考えると、情報処理能力を超えてしまう可能性もあるのではないかとという危惧もあります。

(3) 現地調整所の設置

内閣府の「国民保護措置を円滑に実施するための現地調整所の在り方について（平成19年4月）」では、状況によっては市町村がイニシアチブを取ることになっています。これに対し、検討会では、今回のような事案ならば、現地の実動対処機関の間で、調整の場が自然に出来あがるので、特段に「誰がリードをとる」といったことに注意を払う必要はないとの意見がありました。

確かに、警察・消防のようにその場で実動し、平素から事故や火災現場で連携し合っている機関については、そのとおりなのかもしれませんが、避難先の確保や周辺への広報などを行う県や市などの機関も加わることを考えると、意思を持って設置する調整所も必要なのではないかと考えています。

2. コントローラーとして気づいたこと

(1) 混乱状態のときこそ確実な情報伝達を

多数傷病者事案が発生した際、事態認定の有無に関わらず、一刻も早い人命救助が必要となります。一方で、このような場合には、多くの関係機関が事案の実態を把握しようしますし、報道機関や議員からの問合せも予想されます。これらが実動機関に殺到すると、ただでさえ現場とのやりとりや今後の方針決定などで多忙な状況に、さらに拍車がかかることとなります。これを防ぐには、関係機関からの再確認などがされないような、迅速で的確な情報提供を行うことが必要になります。

今回の訓練では、各機関間での情報伝達や情報入手の際にタイムラグや不伝達があり、応援要請の際などに事実の再確認を行う場面が見られました。「他機関への情報提供など、後回し」という状況となってしまうのも理解できますが、後々の負担を減らすためにも、人命救助を完遂するためにも、確実な情報伝達について、あらためて徹底する必要があります。

(2) 避難実施要領の作成は時間的猶予が必要

コントローラーからは、避難実施要領作成の指示を行ってから40分の間、各機関に対して作業を要するような状況付与は出さないようにしておりました。これは、避難実施要領の作成を初めとした住民避難にどの程度の労力と時間が必要かをプレイヤーに感じ取ってもらう意図がありました。今回の訓練においては、避難区域の設定に、市・県・県警と複数の機関が関わることになりましたが、やはり調整に時間を要してしまい、避難区域を定めるところまでで訓練終了となってしまいました。

今回の事案で実施すべき避難は、その場から離れる程度のものだったのですが、それでも時間がかかるということは、広域避難の調整には相当の時間を要することは明かです。実施要領がある程度完成してから調整を始めるのではなく、県と市との調整、県と国や交通機関との調整で、まずどのような情報が必要なのかあらかじめ時系列的に整理しておき、実際の場面では、順次、調整できるような体制にしておく必要があります。

(3) 避難範囲の特定は一筋縄ではいかない その1

要避難地域の設定は、県と市が電話で大まかな地域を把握し合うことから始まりますが、地名には聞き取りづらいものもあり、今回の訓練でも「不入斗（イリヤマズ）」など地元側では当たり前のものも、土地勘がない県庁の職員には戸惑いがあったようです。

また、市は地域を特定する場合には、基本的に「明細地図」を用いますが、県庁側に横須賀市の「明細地図」があるとは限りません。電話でやりとりをする際には、双方が同じ地図を見ることが理想ですが、実際の場面では難しいと思われます。今回は訓練を円滑に進めるために、すべての参加機関に同一の地図をあらかじめ用意しておきましたが、次回の訓練では「どの地図を使うか」という段階から、調整を始めてみるのも意味があるかもしれません。

(4) 避難範囲の特定は一筋縄ではいかない その2

今回の訓練では、不入斗での避難範囲について、市のプレーヤーは高低差も考慮して「爆発物の北側を○mとするなら、南側は△m（○＞△）で大丈夫」といった判断をしていました。「明細地図」には等高線も記載されていますが、土地勘がないとどれだけの高低差があるのか、判断するのは難しいと思います。

そのため、上記（3）も踏まえると、本市で発生する事案については、横須賀市ホームページの「わが街ガイド」の標高マップを用いるといいのかもしれません。このマップは、住宅地図を基本にしていて、標高も把握できるようになっています。次回の訓練を待たず、県と市の間でこのホームページを見ながら調整する、ミニ訓練を企画したいと思います。

3. まとめ

国内において、ミサイル発射威嚇やイベント等での爆破予告などの情報・ニュースに触れる回数は増してきているように感じられますが、一般市民の方々は、他国からの攻撃や爆発物テロはまだまだ対岸の火事的に捉えているようであり、残念ながら国民保護の考え方は浸透しておりません。

しかし、これらの不測の事態や脅威はいつ発生してもおかしくはなく、万が一の際は、我々関係機関が、国民保護の制度そのものや性質を理解し適切に対処をしなければ、国民保護への理解が低い住民をより大きな危険に曝してしまう可能性も否定できません。

そのためにも、関係機関が一堂に会して訓練を繰り返すとともに、自然災害時と異なる指示体系となる国民保護制度について、同一の認識を持つことが必要と考えます。

今後とも、このような訓練・検討を重ね、不測の事態が発生した際に迅速かつ適切に対処ができるよう関係機関の皆さまと取り組んでいきたいと考えます。

爆発物テロ事案に備える重要性

防衛大学校総合安全保障研究科・国際関係学科教授

宮坂直史

今回の訓練の成果や課題は、本報告書で危機管理課の訓練事務局が詳細に指摘していますので、ここではやや違う観点から、とても雑駁になりますが、いまの日本の課題を、今回の訓練に重ね照らしながら、述べたいと思います。

東京オリンピックを約5年後に控えていることもあり、いま、さまざまな関係機関で、多数傷病者事案への対応が議論されています。一度に何十人かの重傷者が出たら、彼らを各病院に搬送して、手術なり治療を施すわけですが、日本の都市は、いったい何人の命が救えるのか、という問題です。多数傷病者事案というのは、まさに国民保護訓練の多くで想定されている事態であり、なにか別のスキームを使わなければ、対策の議論や訓練ができないというわけではありません。

ところが、国民保護訓練の多くは、爆発があつて、消防や警察などがその現場に出動し、現地調整所を立て、検知やゾーニング、トリアージや除染などをする・・・そこまでの一連の手続きが重視されて、大勢の重傷者を滞りなく病院に搬送できるのか、病院は受け入れてくれるのか、という生死を分ける本当に重要な部分が、図上訓練でも実動訓練でも検証されていません。多くの犠牲者を出した大阪の池田小学校事件や、秋葉原事件などでも、この点で大きな問題を残しました。警察や消防などの初動対処機関と各病院との間での情報共有が十分ではなかったことが各所で指摘されています。

おそらく今後は、国民保護訓練のプレーヤーもしくはコントローラーとして、搬送先の病院が参加することが求められるのではないかと思います。地下鉄サリン事件のときの聖路加病院のように、外来を中止し、救命救急の部署だけでなく、病院全体で多数傷病者の治療にあたった例もありますが、どの病院でもそういう「有事」態勢に迅速に移れるというわけではないです。

2013年のボストン・マラソン爆弾テロ事件では、手足を飛ばされるなど瀕死の重傷者約30人の命が全員救われました。それができた要因の1つが、日頃から病院を含め関係機関がさまざまな想定で訓練を重ねてきた点が挙げられています。

ちなみに、この事件では「圧力鍋爆弾」という手製の、簡易爆発物が使われましたが（「アラビア半島のアルカイダ」というテロ組織の発行している英文ウェブ・マガジンに作り方が掲載されている）、こんな素人製造品でも、即死3人のほか、これほど多くの瀕死の重傷者を出したのです。

日本では、爆発物の原料となる薬品の販売には規制こそかかっていますが、これらは民生品でもあるため、悪意のある者が決して入手できないというわけではありません。さらに、爆発物の作り自体も簡単です。近年でも、誰かを殺傷するために爆発物をつくって検挙された事案が多数あり

ます。もとより 1970 年代までさかのぼれば、三菱重工爆破事件や北海道庁爆破事件をはじめ、未遂ではなく、数多くの惨状をわれわれは経験をしました。

各地での訓練を拝見して最近感じるのは、「いったいこの街では、多数の重傷者が出たら、そのうち何人の命を救えるのだろうか」という点です。訓練で、爆発物に C（化学剤）や R（放射性物質）が含まれていることを想定して対応しますが、テロのデータを想起すると実は奇妙なことです。爆発を伴う C テロや R テロはそうそうありません。C や R への対応ドリルも勿論必要ですが、それは各部隊でやり、国民保護訓練のような多機関参加訓練では、連携して爆傷者を何人救えるかに重点や目標を置いてよいのではないのでしょうか。

最後に、今回のわれわれの訓練もそうでしたが、日本の多くの訓練では、爆発事案に続いて不審物発見事案が入ります。避難させる手続きを体験するためです。この 2 つが続くのは、ありそうに見えますが、そうそうないです。何よりも、爆弾テロで多数傷病者が出れば、そちらにかかりきりで、避難まで手が回らないのではないのでしょうか。つまり 1 つの訓練のなかに、爆発と不審物の両方を入れるのは相当にハードなことで、あとでじっくりとプレーヤーの対応や判断を検証するためには、別々の訓練に分けたほうがよいのではないかと感じました。

国民保護法の施行から 10 年たちました。次の 10 年も、問題意識をもって継続していかなければなりません。爆発物テロは件数も多く、もっとも警戒すべき事案です。まだまだ訓練し、手順やマニュアルを再考しなければならない点が出てきそうです。

（了）

5 その他





アンケート回答結果

訓練参加者・視察者に対して、今回および今後の国民保護訓練について、アンケートを実施し、関係機関からご回答をいただきました。ご参考に掲載いたします。

| | |
|---|---|
| 1 | <p>今回の訓練では、図上訓練と訓練実施後の検討会という形で行いました。来年度以降、どのような訓練を実施した方がよいと思いますか。</p> <p>①実動訓練 ②図上訓練 ③図上検討会 ④その他（ ）</p> |
| 2 | <p>1で選んだ理由を併せてお聞かせください。</p> <p>①実動訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図上訓練を今回経験させてもらったので、これを生かして実動に役立てたい ・ 実動訓練は、多くの人員、組織の投入を伴う。各構成員の意識の向上にもつながるし、市民の目に触れることで市民への啓発にもつながる <p>②図上訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いつ、いかなるときに起きるか分からない国民保護事態対処に対して、多種の想定を訓練することで職員の練度を高める ・ 今回の訓練が良かったので、同様でよい。ただし、図上訓練の時間を1時間程度とし、検討の時間をもう少し長くした方がよい。 ・ 一堂に会して緊張感を持って対応する訓練は貴重な機会 ・ 県でも図上検討会を行っているため、横須賀市には今までの市のノウハウを活かした図上訓練を期待する。可能であれば隣接市町との共同訓練とし、横須賀市街を避難先地域として訓練を実施していただきたい。 <p>③図上検討会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域避難に関する検討が必要だと思う。 <p>④その他</p> <p>(実動訓練＋図上訓練)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に事案が発生した場合、現場活動（実動訓練）と対策本部の活動（図上訓練）が行われることとなり、どちらが欠けても国民保護の目的は達成できないから。 <p>(図上訓練＋図上検討会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図上訓練と図上検討会を年度ごとに交互もしくは、同一年度に両方実施出来れば実行性があると思う。 ・ 実動訓練は、関係機関の連携強化より、一般の方への国民保護の理解促進がメインになる。実施する場合は、事前に図上検討会を実施し、参加機関内での実行性を担保すべき。 |
| 3 | <p>国民保護訓練参加にあたって、問題点や課題等がございましたらご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の訓練において、想定に関する事例がよく理解できておらず、他機関の連携がうまく機能していなかったように思える。 ・ ブラインド訓練はとてもよい。もう少し各機関の動きを調整した上で、実施した方がよい。 ・ 発生時の動き等は各機関対応、情報入手方法等が異なることから、事務局側（コントローラ |

| | |
|---|--|
| | <p>一側)は訓練想定の内容とは違う想定で発生時の動きを確認するなどして、訓練の流れを作成していただきたいと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察組織の構成上、110番を受理する部署、捜査を担当する部署、交通規制をかける部署、情報を収集する部署などに細分化されている。すべてを危機管理対策課だけでまかなうのは難しく、本来行うべき調整が実施できない。 ・記入する用紙等が平素使用している書式と違うため、戸惑いが生じた。 ・「訓練方法の概要」についてより分かりやすく説明した方が良い。テロの発生要因(テロの目的など)各省庁で共有化は出来るのか。今後、確認の必要があるのでは?警戒の対応に関わる問題。 ・参加機関が徐々に固定化してきている感じもあるので、様々な機関を巻き込んだ想定と訓練を検討されてみてはいかがでしょうか。 |
| 4 | <p>国民保護関係機関に対して、訓練以外で国民保護の知識を広めていく方法として、良い案がございましたらご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関等の認識を高めるための定期的な研修会の開催 ・図上検討会等で認識の統一を図ることが1番だと思う。他市でも自治体は電車を使つての避難を計画していたが、鉄道会社は安全が確保されるまで運行しないなどの矛盾が判明しているため、実際に現場で調整し、活動するための方針を近くしたい。 ・県内各市町村の担当者による定期的な検討会(顔の見える関係づくり)の実施 ・定期的な研修会や勉強会を開催してほしい。住民の避難方法の検討やその際の誘導、安否情報システム等、通常の訓練ではあまり検討できていない課題を各機関で抽出、共有し、これらに関する勉強会や意見交換会を実施していただきたい。 ・市・県・警察・自衛隊等の担当者が定期的に集まる研修会を実施する。 ・各機関持回りで、事案対応の際に知っておいてほしい事などを報告する勉強会(+懇親会) ・危機管理研究会と同様な会を様々なレベルで実施すると勉強になると思う。 |
| 5 | <p>その他、訓練全般についてのご意見をお聞かせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつ起こるか分からない事案についての訓練だったことから、連絡体制の確立がすぐに構築することが困難であった。 ・関係機関が集まって訓練することは、とても有意義であると感じている。顔が見える関係は連携していく上でとても重要なことと東日本大震災の時に感じた。これからも各訓練に参加していきたい。 ・今回、横須賀海上保安部が視察となっていたが、コントローラーとして参加していただきたかった。今回の想定が発生した場合、陸・海・空すべてでの警戒となることから、リアルな訓練を実施するためにも他機関と共同のコントローラーを検討していただきたい。 ・騒然、雑然とした状況下での訓練は大変貴重。それぞれの機関が一堂に会して行う訓練の実施を今後とも願います。 ・各機関の参加人数を統一する必要はないが、実施方法は事前に具体的なものを示してもらえると体制を組める。もう少し人手が必要だった。(想定はブラインドで構わない) ・国民保護関係は訓練を実施する例が少ないため、横須賀市の訓練は貴重な場と考えております。 |

横須賀市国民保護訓練実施結果報告書

平成 26 年（2014 年）12 月発行

横須賀市市民安全部危機管理課

〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町 11 番地

TEL:046-822-8410 FAX:046-827-3151

E-mail:ps-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp

URL:[http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2005/](http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2005/kikikanri/index.html)

[kikikanri/index.html](http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2005/kikikanri/index.html)

